

令和5年度

協働のまちづくり応援補助金

『やりたい!』を『カタチ』にした!!

チャレンジing事業

活動レポート

令和5年度



飯塚市役所 市民協働部 市民活動支援課

〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号 飯塚市役所(本庁舎) 4階

☎0948-96-8259 (直通)

E-mail:shiminkatsudou@city.iizuka.lg.jp

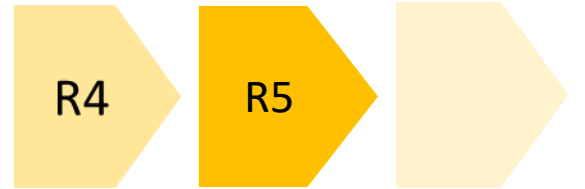


目次

◇ 事業名称（実施団体）

- ◇ 市民とのアートなふれあい「アートフェア飯2023」
(飯塚美術協会) ----- 1
- ◇ 子どもからお年寄りまでが楽しめるカードゲームの製作と実践
(豆たんクラブ) ----- 3
- ◇ 飯塚iiJAN(いいじゃん)制作者育成及び展示
(Tom!Pim!Shiam!) ----- 5
- ◇ アンブレラスカイinイツカ
(NPO法人サカ工会) ----- 7
- ◇ 革新的農業への道
(明星(あかり)) ----- 9
- ◇ サイレントカップ
(NPO法人LIGアカデミー) ----- 11
- ◇ 鎮西の電飾祭2023-2024
(安鎮プロジェクト) ----- 13
- ◇ かいたマルシェ
(かいた子育てサポート・ジャム) ----- 15
- ◇ 2023新飯塚駅前X' masマーケットin筑豊
(X' masマーケット実行委員会) ----- 17

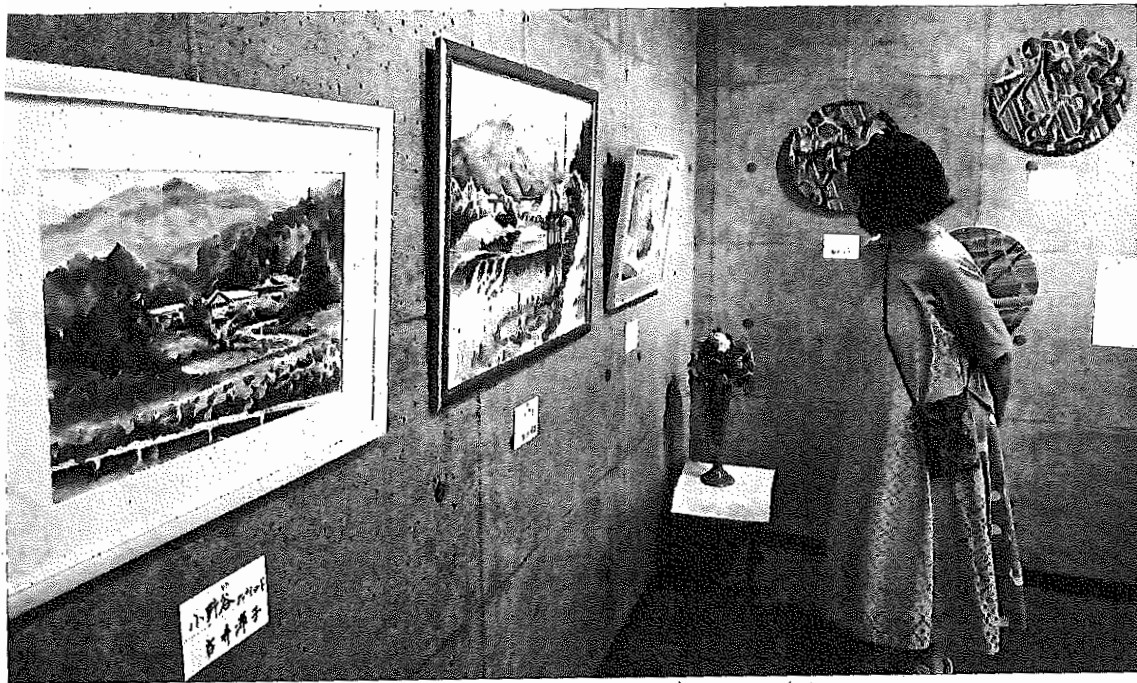
- ◇ 宇宙と人生の学校づくり
 (天空の道星空プロジェクト) ----- 19
- ◇ 三世代交流～敬老者感謝の集い
 (神之浦自治公民館) ----- 21
- ◇ 久世ヶ浦自治会なないろ事業 ～クリスマス会で世代間交流～
 (久世ヶ浦自治会) ----- 23
- ◇ カレー食堂の会
 (カレー食堂の会) ----- 25
- ◇ ニューススポーツde地域交流！！
 (二瀬支部自治会長会) ----- 27
- ◇ 身近でアウトドア(親子で春を楽しもう)！！
 (飯塚レクリエーション研究会) ----- 29
- ◇ 2023－2024 小正一区公民館年末年始イルミネーション
 計画と大型紙芝居 (小正一区公民館) ----- 31
- ◇ 三河家ジャパン演劇祭「闇夜の翔天」in曩祖八幡宮
 (三河家劇団) ----- 33
- ◇ 飯塚を桜で彩ろう(さくらびとPROJECT)
 (赤坂調整池有効利活用企画委員会) ----- 35
- ◇ 困難を抱えた家庭の子どもへの食の支援(フードバンク事業)と
 虐待防止活動事業(アドボカシー事業)
 (特定非営利活動法人ふれあい) ----- 37



市民とのアートなふれあい 「アートフェア飯塚2023」

絵画や工芸の展示会及び地元芸術家と市民のふれあい事業を実施

画家12人の世界観味わう



「アートフェア飯塚」多彩な出品

3期に分け120点展示

各期の日程と出品画家（敬称略）

- ▽1期(19~23日)
野田博生、吉井洋子、横尾保馬、松田幸子
- ▽2期(26~30日)
原田敏規、山本せつ子、牟田寿、三宮功
- ▽3期(8月2~6日)
戸倉志織、高鍋充、安武英剛、東弘子

同協会は例年、春と秋の年2回、同ギャラリーやイイツカコミュニティセンターで作品展を開催。ただ、会場のスペースの関係で、1人当たりの出品数は1~3点に限られてきた。

飯塚美術協会の作品展「アートフェア飯塚」が19日、飯塚市本町のギャラリー「青」で始まった。写真。展示期間を3期に分けて出品画家を入れ替える形式を初採用。8月6日までに12人の作品計約120点を紹介する。従来に比べ、1人当たりの出品数が増えるため、画家の世界観をより楽しめるという。（鶴結城）

新しいイベントの始まりです

A F F I アートフェア飯塚 2023

飯塚で活躍する画家が三週間に渡ってリレー形式でアートフェアを開催します。この機会に地元画家の画風や個性をご覧ください。そして、お気に入りの作品を見つけていただけたら嬉しく思います。ご来場を心からお待ちいたしております。入場無料

会場 ● ギャラリー青（飯塚市本町 17-43 TEL0948-24-3346）

- ・会期中の毎週土曜日 14時より先着3名様無料で似顔絵を描きます。
- ・飯塚の風景画絵葉書を各回先着70名様にプレゼント致します。

1期	2期	3期
7月19日(水) ~23日(日)	7月26日(水) ~30日(日)	8月2日(水) ~6日(日)
野田博生 吉井洋子 横尾保馬 松田幸子	原田敏規 山本せつ子 牟田 寿 三宮 功	戸倉志織 高鍋 充 安武英剛 東 弘子

主催 / 飯塚美術協会 後援 / 飯塚市教育委員会、飯塚文化連盟
飯塚市協働のまちづくり応援チャレンジing事業

▲ ポストカード

◀ 新聞 掲載記事

対象経費

- 会場使用料(使用料)
- 案内はがき印刷代(需用費)
- 郵送代(役務費)
- 絵の具、葉書用袋等(需用費) など

総事業費

208,344円

補助金額

150,000円

団体名	飯塚美術協会	代表者	会長 原田 敏規
事業名称	市民とのアートなふれあい「アートフェア飯塚2023」	総事業費	208,344円
事業区分	テーマ事業	補助金交付額	150,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で日々、芸術活動をしている姿を、作品を通して知ってもらうことで、地元の文化を深く知る機会になる。 ・飯塚の風景画を受け取ることで、あらためて地元の良さや歴史を味わい、地元への誇りを醸成することができるようになる。 ・市民と美術協会会員が直接、顔を合わせることで、温もりのある交流を期待できる。 		
事業の内容	実施期間	令和5年7月19日～令和5年8月6日	
	実施場所	ギャラリー青	
	実施状況	展示 19日間	
	<p>○飯塚美術協会会員(28名在籍)が、日々制作している絵画等の、アート作品を三つのグループに分かれて、120点を展示し、三週間に渡って開催することで、地元芸術家作品と市民が触れ合える事業。</p> <p>○来場者の似顔絵や飯塚市内の風景画絵葉書を配付。</p>		
事業の成果	<p>西日本新聞と読売新聞に記事が掲載されたのを見て、来場した方も多く、会期中の来場者は、約300名だった。</p> <p>会場のスペースの問題から、リレー形式で3回に分けて開催したが、一人当たりの展示作品数が多く、作家の個性や画風が理解できたとの声が寄せられ、地元で地道に活動する文化人の姿を伝えられたのは成果であった。</p> <p>飯塚市内の風景画絵葉書を見て地元への愛着を感じ取られる方の姿があった。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>今年は特に猛暑で、外出が何かと困難な場面もあった。健康面での配慮が必要であるので、次年度は4月～5月の開催を検討したい。</p>		



豆たんクラブ

子どもからお年寄りまでが楽しめる カードゲームの製作と実践

【カードで脳トレ楽しんで！】

ゲームで高齢者向け脳トレができるカードゲーム「Pocket9」を制作



▲ カードの箱詰め作業中

さあ
みんなで考えよう！



最高！
(さいこう)



▲ 新聞記事に掲載

対象経費

- 図書費(需用費)
- 文具類購入費(需用費)
- デザイン指導料(委託費)
- ソフトウェア購入費(需用費)など

総事業費

355,725円

補助金額

196,000円

団体名	豆たんクラブ	代表者	会長 瓜生 隆弘
事業名称	子どもからお年寄りまでが楽しめるカードゲームの製作と実践	総事業費	355,725円
事業区分	テーマ事業(先駆的)	補助金交付額	196,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに参加するために交流の場まで足を運ぶことは、高齢者の外出のきっかけづくりになる。また、他の参加者との会話の機会が増えることで、さまざまな刺激を受けることができる。 ・幅広い年代の方が飯塚市市民交流プラザに集い、語り合うことから、街のにぎわいづくりにつながる新たな取り組みが生まれることも期待できる。 		
事業の内容	実施期間	令和5年6月1日～令和6年3月31日	
	実施場所	市民交流プラザ	
	実施状況	会議:26回、配付部数:190部	
	<p>○子どもからお年寄りまでの幅広い方を対象にした、オリジナルのカードゲームを制作し、直接対面で楽しんでいただくことを企画。</p> <p>○市報やSNSを活用して、交流会への参加者を募る。完成したゲームは市内の交流センターやボードゲーム専門カフェに配布。</p>		
事業の成果	<p>カードゲームの製作を共通テーマとして、近畿大学産業理工学部と近畿大学九州短期大学の学生および地域の社会人などが集い、子どもからお年寄りまでが楽しめるカードゲームを開発することができた。</p> <p>令和6年1月には西日本新聞社の取材を受け、記事が掲載されたことから広く市民に知っていただくことができたと思っている。完成したカードゲームは飯塚市中心商店街の方々や市内の交流センター等に配布した。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>名刺用の紙でカードを製作した。100枚で1セットとしたが、ひらがなを活用したので45枚程度で良いとの意見があった。</p> <p>次年度以降は、手触りの良い仕上げにしたり、枚数を調整するなどしてさらに使いやすいものにしたい。</p>		

Tom ! Pim ! Shiam !

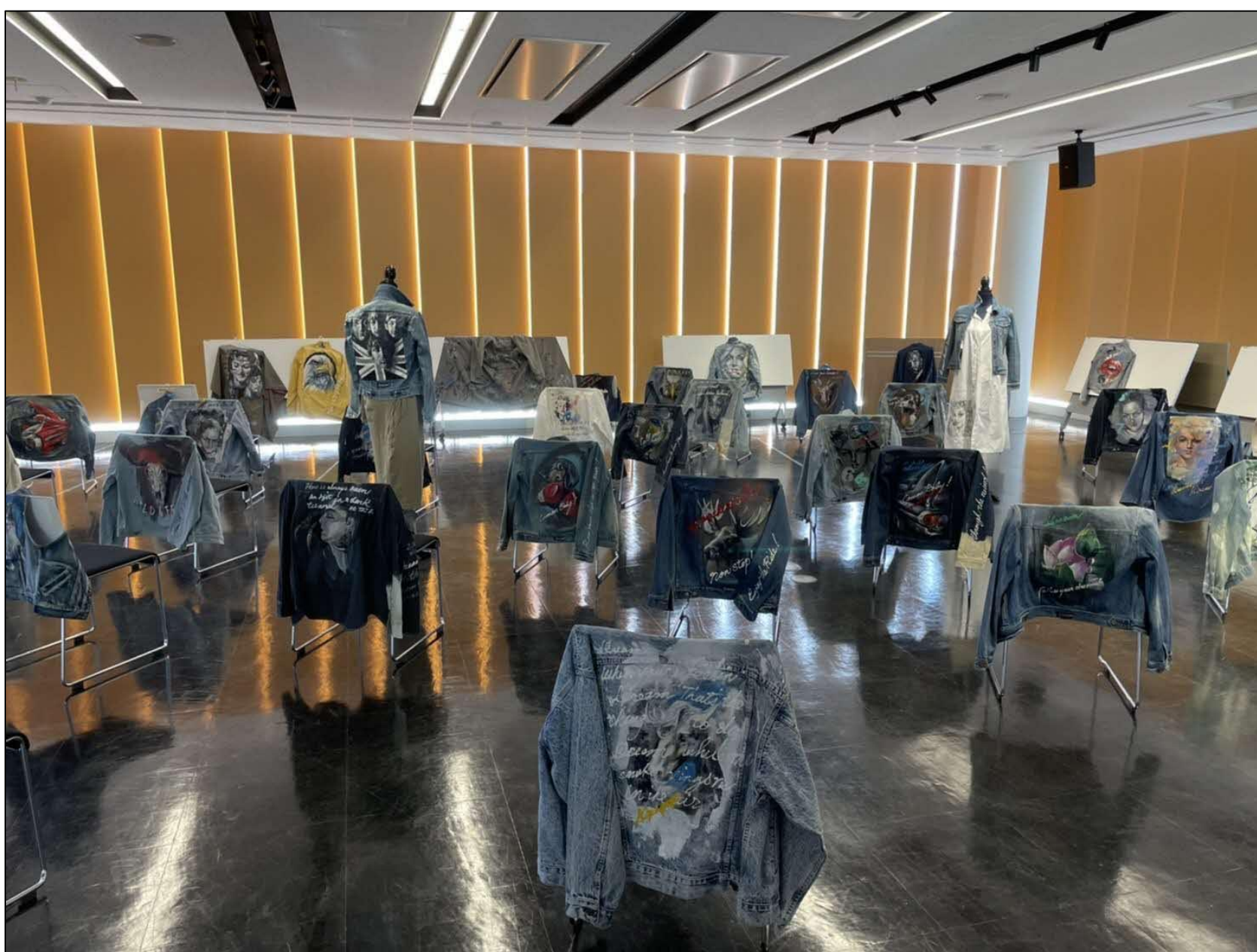
採択回数

R4

R5

飯塚iiJAN(いいじゃん) 制作者育成及び展示

家庭内の不要になった衣類などを、彩色したり印刷物を貼り込みリメイクし、新しい感覚で甦えらせる



対象経費

会場使用料(使用料)
iiJAN制作用品
Gジャン、接着剤等(需用費)など

総事業費

57,404円

補助金額

43,000円

団体名	Tom ! Pim ! Shiam !	代表者	代表 高鍋 充
事業名称	飯塚iiJAN(いいじゃん)制作者育成及び展示	総事業費	57,404円
事業区分	テーマ事業	補助金交付額	43,000円
事業の目的	<p>・商店街の空き店舗対策となる活動として、家庭内で不要となった物をトレーナー指導の下、親子で楽しく作業し、新たな生命を与え、衣類の加工に興味がある方の仕事になり、それが商店街の空き店舗対策の活性化につながる。</p>		
事業の内容	実施期間	令和5年6月1日～令和6年3月31日	
	実施場所	市内交流センター	
	実施状況	育成回数:7日間	
	<p>○今回は2回目に入り、制作スタッフの育成及びトレーニングを行う。 ○家庭内で不要となった飽きた衣類を彩色したり、印刷物を貼り付けたりして、そのアイテムを新しい感覚で蘇らせる。</p>		
事業の成果	<p>二年目の段階としては、2名でのサンプル制作を行ったが、今年より具体性を持った展開を開始したい。 代表者の体調不良により、空き店舗対策には一歩も踏み出せなかった。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>あくまでも予定で希望ですが、飯塚市商店街を借用し、土日限定のアートギャラリーとiiJANコーナーを開設し、販売とワークショップを行い、告知する。</p>		

アンブレラスカイinイイツカ☂

ポルトガルのアゲダで行われる芸術祭アンブレラスカイを、
大好評だった**昨年**に引き続き今年も開催！

アンブレラスカイで飯塚から世界へ元気を発信しよう！

第2回
アンブレラスカイin飯塚

ポルトガルのアゲダで行われる芸術祭アンブレラスカイを、大好評だった昨年に引き続き今年も開催！
傘に自分の好きな絵を描いたらフォトコンテストにも応募してね！

傘に
給付け **10/8** 日 傘の展示 **10/10** 火 → **13** 金

駐車場：河川敷駐車場のみ無料

【会場】イイツカコミュニティセンター内2階

傘に
給付け **10/8** 日 9:30~17:00 予約不要 参加無料

160名(予約限定)各時間40名

時間
人数

1 9:30~11:00 2 11:30~13:00
3 13:30~15:00 4 15:30~17:00

対象者
3歳~高校生まで
(3歳~小学6年生までは親同伴)

※給付けの道具、傘はこちらで準備しています。
※当日は汚れてもいい服装でお越しください。

【会場】イイツカコミュニティセンター内

傘の展示 **10/10** 火 → **13** 金 予約不要 観覧無料

9:00~22:00 観覧はどなたでもOK!!

※飾り付けた傘は、14日(土)傘の撤去作業後、コミュニティセンター内で11:00~12:00にお持ち帰りいただけます。なお、受け取りが無かった場合は、サカエ会の事務所まで後日引き取りにお越しください。

同時開催
ミニフォトコンテスト
アンブレラスカイの展示を撮影して応募しよう！

（スケジュール）
応募期間：10月10日(火)~19日(木) 12:00まで
審査期間：10月24日(火)~27日(金)
結果連絡：11月1日(水)・2日(木)
景品郵送：11月7日(火)

（景品）全てQUOカードで送呈
[1位]5,000円分 [2位]3,000円分 [3位]1,000円分

（応募方法）
NPO法人サカエ会のInstagram
(右のQRコード)のアカウントを
タグ付けてください。

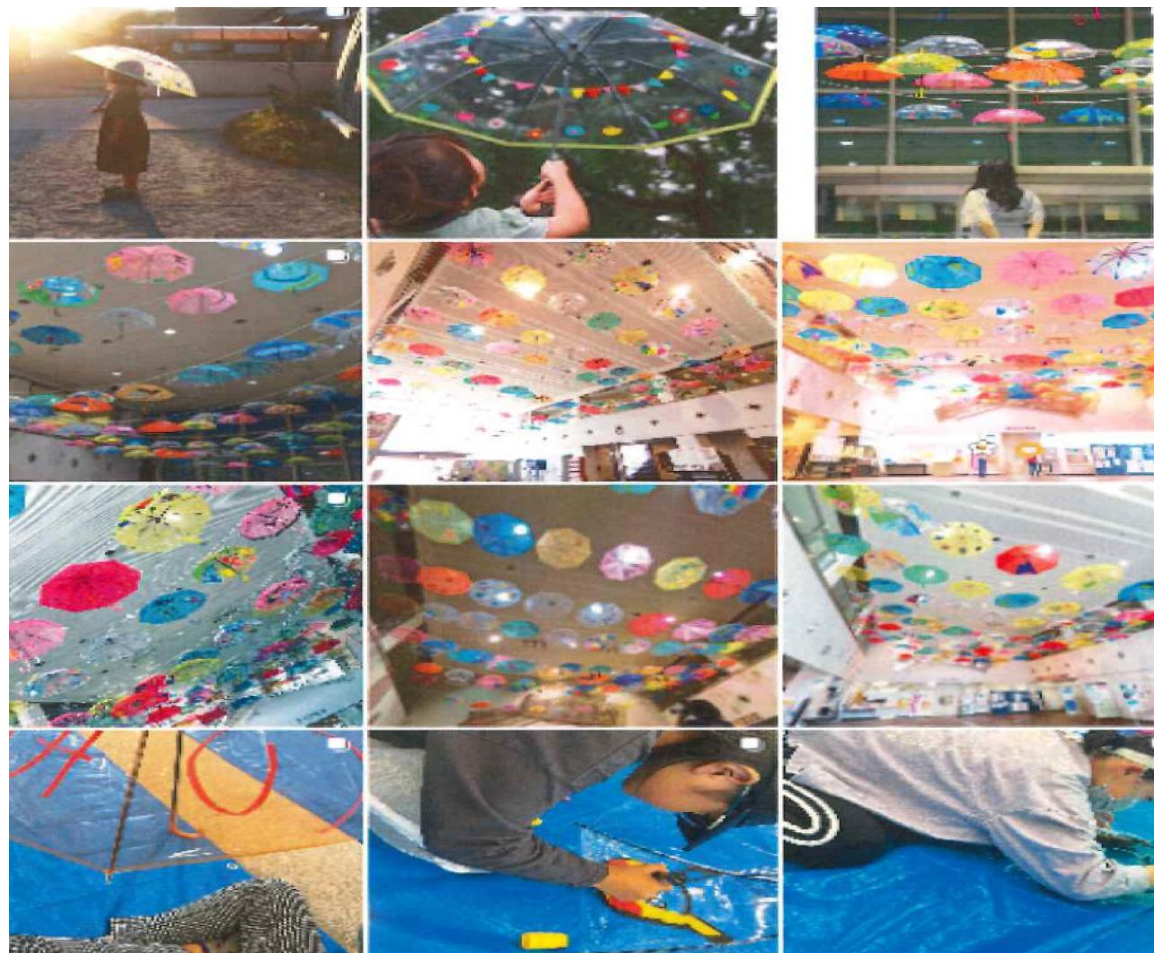
※応募する際に「アンブレラスカイ」タグを必ず入れてください。
※応募対象は飯塚市のアンブレラスカイの写真に限ります。
※撮影は複数回されたとしても1枚のみを提出します。
※期間厳守 ※DMのやり取りができる方に限ります。
※こちらから連絡して変更が必要な日までに問い合わせは有効とさせていただきます。

10/8(日)傘の給付けのお申込先
参加予約はこちらのWEBからのみ
<https://umbrellasky.sakaikai.org>
予約期間：9月6日(水)~15日(金)

お問合せ先 ☎0948-42-8031
福岡県飯塚市赤坂846-131 NPO法人サカエ会

#アンブレラスカイ飯塚
みんなの笑顔をSNSで発信しよう！

主催：NPO法人サカエ会 共催：飯塚市
飯塚市協働のまちづくり応援補助金「チャレンジing事業」採択



▲Instagram

対象経費

宣伝用ポスター、チラシ作製料(委託費)
金具、ロープ、傘、文具等(需用費)
司会、音響料(委託費)
送料、手数料(役務費)
HP作成・管理費(委託費) など

総事業費

286,656円

補助金額

200,000円

団体名	NPO法人 サカ工会	代表者	理事長 伊藤 栄一
事業名称	アンブレラスカイ inイイツカ	総事業費	286,656円
事業区分	テーマ事業(先駆的)	補助金交付額	200,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃では体験できないこと、見る事が出来ないことを体験する事ができ、思い出を残すことができる。 ・親子・家族・周りの参加者とのコミュニケーションの輪を広げる事が出来るチャンスになる。 ・足元ばかりではなく、上を見ることにより、いいことがあるという事を発見し、明るい未来へと進んでいければと思う。 		
事業の内容	実施期間	令和5年6月1日～令和5年12月30日	
	実施場所	イイツカコミュニティーセンター	
	実施状況	開催日:令和5年10月8日～14日(7日間)	
	<p>○【10月8日】参加申し込みしていただいた方に(160名)傘に絵を描いてもらう。</p> <p>○【10月9日】サカ工会のメンバーを中心に飾り付けする。</p> <p>○【10月10日～13日】展示期間。</p> <p>○【10月14日】撤去作業。</p>		
事業の成果	<p>参加者の中には、去年に引き続き参加しましたとのリピーターの方も多く、新しくチラシを見ての申し込みも多数あった。普段と違ったことをご家族で体験することで、会話の輪も広がり楽しく過ごせたのではないかと思う。</p> <p>SNSにもあげて頂くことができた。ミニフォトコンテストでは15件の応募があったが、予想していた件数より少なく感じた。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>展示期間を4日間取りましたが、周りの方から好評で展示期間を延ばしてほしいとの声が多く寄せられた。次回からは1ヶ月くらいでもよいのではないかと考えている。</p> <p>他のイベント(ハロウィン、クリスマス、夏祭り等)とのコラボも考えている。</p>		

明星(あかり)

採択回数



革新的農業への道

耕作放棄地を利用した有機肥料による野菜栽培と販売



▲有機肥料による野菜栽培



▲収穫した「芋」

商品化!



▲完成した「干し芋」

対象経費

ガソリン代、交通費(旅費)
施設使用料(使用料)
肥料、農具、文具、
印刷等(需用費) など

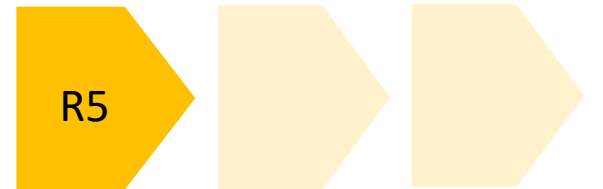
総事業費

381,456円

補助金額

200,000円

団体名	明星(あかり)	代表者	代表 小池 正博
事業名称	革新的農業への道	総事業費	381,456円
事業区分	テーマ事業(先駆的)	補助金交付額	200,000円
事業の目的	・荒れた休耕田で画期的な有機農法・農薬不使用の菜園事業に取り組めば、周囲に大きな反響を呼び、他の農家を動かすことも可能と考えている。		
事業の内容	実施期間	令和5年8月1日～令和6年3月31日	
	実施場所	飯塚市明星寺市浄水場付近	
	実施状況	子ども会との定植作業、勉強会、販売等を実施	
	<ul style="list-style-type: none"> ○耕作放棄地を利用した有機肥料による農薬不使用の野菜栽培と販売 ○若者農業就業の創出、鎮西地区農業の活性化 ○耕作放棄地を借り受け、安心安全な野菜栽培 		
事業の成果	<p>3年前から始めた紅はるかを使った干し芋作りと、6年続けている里芋作りが、団地内と外部の常連のお客様により生産量と販売量が増加し、近隣の農家の方からも加工品としての干し芋作りの反響の良さに、興味を持たれ始めている。</p> <p>本年度生産高:さつまいも&干し芋昨年比1.5倍 :里芋昨年比0.6倍</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>来年度は増加していく販売量に対応すべく、里芋とさつまいもの植え付け量を1.5倍に増やす予定。ただ作業人員の絶対数が少ないので、本年度より交流を開始した九州大学と近畿大学の学生さんの応援を頂き、本格的な地域発展の事業としての道筋を捉えていきたいと思っている。</p>		



サイレントカップ🏆

子どもたちの自主性、主体性、考える力、行動に移す力を育てるサッカー大会を開催しました！



▲大会の様子

対象経費

カメラマン委託費(委託費)
トレーナー委託費(委託費)
審判委託費(委託費)
表彰に関わる経費(需用費)など

総事業費

573,248円

補助金額

300,000円

団体名	NPO法人 LIGアカデミー	代表者	理事長 大谷 翼
事業名称	サイレントカップ	総事業費	573,248円
事業区分	コラボ事業	補助金交付額	300,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・育成世代において大切な、自主性、主体性、考える力、行動に移す力、それらに知恵・工夫を取り入れ、成長させること。 ・指導者・保護者が発見できなかった、子ども達の良さ、可能性に改めて気付ける良いきっかけになる。 		
事業の内容	実施期間	令和5年8月1日～令和5年8月31日	
	実施場所	立岩小学校運動場・健康の森グラウンド・飯塚市運動場・西安の丘グラウンド	
	実施状況	2日間(8月19日、8月20日)、4会場で実施	
	<p>○指導者、保護者の指示が一切禁止という特別ルールのあるサイレントカップを開催。</p> <p>○36団体(市内外、県外の団体)が参加。</p> <p>○九州サッカー専門のカメラマンに2日間で10,000枚を超える写真を撮っていただいた。</p>		
事業の成果	<p>飯塚市のホテルと連携が取れ、今後、大会時などに宿泊できる場所を確保でき、お互い、メリットがある。</p> <p>また開催してほしい、別地域での開催も考えてほしいという声上がり、次年度以降の基盤ができた。</p> <p>子ども達が、自分たちで考え、行動して試合に向かっている姿はとても成長したように見えた。</p> <p>「いいすぽ」とコラボし、参加チームへチラシ配布し、マネーセミナーを開いたことで、認知拡大や需要を確かめる事が出来た。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>今回は飯塚市外の会場でも開催したが、次年度からは飯塚市内のみでの開催をする方向。</p> <p>サッカーに限らず、別競技も取り入れた大きな大会を飯塚市と一緒に開催したい。</p>		

安鎮プロジェクト

採択回数

R4

R5

鎮西の電飾祭2023-2024

若手世代を中心に
鎮西交流センターをイルミネーションでライトアップ



▲イルミネーションの様子

対象経費

イルミネーション材料代(需用費)
高所作業車レンタル代(使用料)
チラシ作成費(委託費)
電気代(需用費) など

総事業費

448,839円

補助金額

300,000円

団体名	安鎮プロジェクト	代表者	リーダー 大谷 剛
事業名称	鎮西の電飾祭 2023-2024	総事業費	448,839円
事業区分	コラボ事業	補助金交付額	300,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の青年会と共同で実施することにより、次世代の地域行事の担い手として、技術や事業の進め方等のノウハウを伝え地区を発展させていくためのアイデアや企画力などを引き出していく。 ・昨年実施した際は、多くの観覧者があり、反響も大きかったため、鎮西交流センターの賑わい創出という面でも大きな効果があると考える。 		
事業の内容	実施期間	令和5年8月1日～令和6年1月30日	
	実施場所	鎮西交流センター	
	実施状況	会議:23回、点灯期間:11月11日～1月13日	
	<p>○鎮西交流センターをイルミネーションでライトアップする。 ○11月11日(竜王まつり前夜祭開催日)の点灯式を目標に9月ごろから展示物を作成し、10月下旬から外壁や屋外への設置を進める。クリスマスバージョンへの設置変更。正月バージョンへ設置変更していく。</p>		
事業の成果	<p>点灯式を竜王祭り(公民館まつり)前夜祭後に実施したが、まつり来場者のほとんどが、時間が空くにもかかわらず点灯式までその場にとどまっていたことから、多くの人の関心を集めていたことが伺える。 会期中は夜間かつ長時間の開催のため集計は取れていないが、かなりの人数が展示を見に来ていた様子は確認できた。普段、夜間に交流センターを利用しないであろう子ども連れ等も多く見る事が出来た。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>強風、雨や雪などによる資材の痛みが激しく、継続するには追加購入や展示内容の見直しが必要となる。また、物価高騰により電飾自体が値上がりや低品質化している状況のため、予算的にさらに厳しい状況になっていることが予想される。</p>		

かいた子育てサポート・ジヤム

かいたマルシェ

“自らつくる共につくる”

(か)語って**(い)**一緒に**(た)**楽しむマルシェの開催



▲チラシ（表紙）



当日の様子

対象経費

チラシ、ポスター印刷費(需用費)
 文具、紙、のぼり旗(需用費)
 保険料、切手代(役務費)
 警備(見守り)費(委託費)
 お化け屋敷製作費(委託費) など

総事業費

230,602円

補助金額

150,000円

団体名	かいた子育て サポート・ジヤム	代表者	代表 浅田 なおみ
事業名称	かいたマルシェ	総事業費	230,602円
事業区分	テーマ事業(先駆的)	補助金交付額	150,000円
事業の目的	<p>・「(か)語って(い)一緒に(た)楽しむ」マルシェを実施することでマルシェに出店する人も参加するお客さんも、みんなが関わり合える、人と人、人とモノ・コト、場とココロがつながるコミュニティを創る。</p>		
事業の内容	実施期間	令和5年8月1日～令和6年3月31日	
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 颯田交流センター別館(旧サンシャインかいた) ・ 颯田支所前広場(チャレンジ広場) ・ 丸山公園 (周辺は歩行者天国にする)	
	実施状況	かいたマルシェ会(反省会含):11回、実施日1日	
	<p>○主催者によって出来上がった企画に出店者が賛同して参加するのではなく、主催者も出店者もそれぞれの想いを準備会で語り合いゼロから形にしていくプロセスを大事にした事業にするため、子ども達にも参加を呼びかけ、子ども達が、自ら主体的に「働く」チャンスになるように、事前準備から大人と共に参画する。</p>		
事業の成果	<p>「かいたマルシェ会(準備会)」参加者:114名(延べ人数) 当日:「かいたマルシェ」参加者(来場者):約400名 反省会参加:22名 西日本新聞に掲載(令和5年11月20日朝刊)</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>反省会で、実行委員・出店者それぞれに開催後の感想や次回に向けての気づき・アイデアを出し合った。 「キッチンカーが増えるといいな」という意見が多かった。</p>		

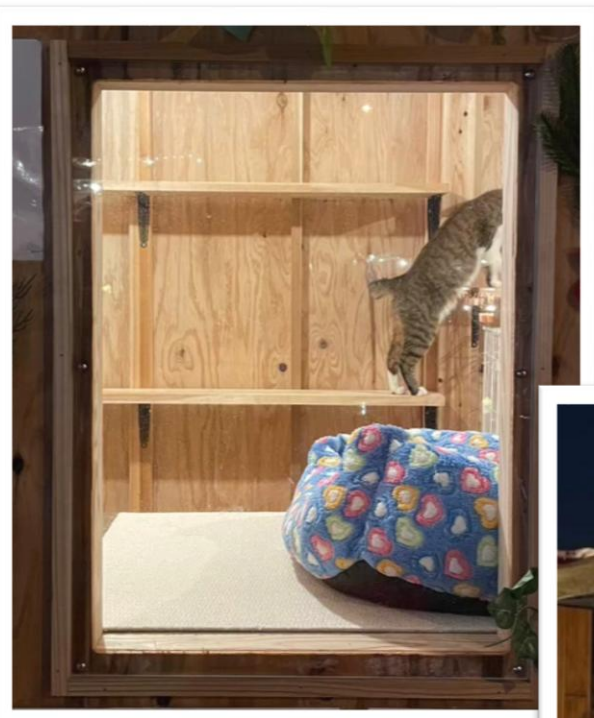
採択回数

R5

X'masマーケット実行委員会

2023 新飯塚駅前 X'masマーケットin筑豊

新飯塚駅前でのクリスマスマーケット開催



▲動物愛護活動



▲会場風景

対象経費

会場設営費、電気工事代、
人件費(委託費)
印刷代、広告代(需用費)
装飾代(需用費) など

総事業費

2,006,499円

補助金額

200,000円

団体名	X'masマーケット 実行委員会	代表者	代表 浅尾 加奈子
事業名称	2023新飯塚駅前 X'masマーケットin筑豊	総事業費	2,006,499円
事業区分	テーマ事業(先駆的)	補助金交付額	200,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスマーケットに集まったお客様が、周辺商業施設へ流れ地域活性につながる。 ・本事業を通じ、動物愛護活動へ理解を深めてもらう。 ・本事業により発生した収益となる部分は、福岡県動物愛護センターに、全額寄付を行うことで、公益性を担保する。 		
事業の内容	実施期間	令和5年12月13日～令和5年12月25日	
	実施場所	新飯塚駅前	
	実施状況	マーケット開催:13日間	
	<p>○新飯塚駅前を利用し、13日間クリスマスマーケットを開催。 ○飲食販売、雑貨販売、カラオケ大会、チャリティーステージなどを実施。 ○広域における地域住民が対象。</p>		
事業の成果	<p>クリスマスマーケットに集まったお客様が周辺商業施設へ流れた。 クリスマスマーケットを通じ、動物愛護活動へ理解を深める事が出来た。 動物の譲渡会:犬1匹、猫4匹を譲渡できた。 カラオケ参加者数:40人 発表団体 飯塚高校3クラブ(バトン部、ブラスバンド部、ダンス部)、 ゴスペル、地元のサークル等11団体が発表</p>		
次回以降の見通しと課題	開催活動方法を見直して開催予定		



宇宙と人生の学校づくり

宇宙目線で自分自身を見つめ、地域、国、地球のことを考える「人生の学校」の開催



▲ レゴブロックDE新感覚「学び」体験会の様子

対象経費

DVD、資料作成費(委託費)
講師への謝金(報償費)
通信料(需用費)
印刷代(需用費) など

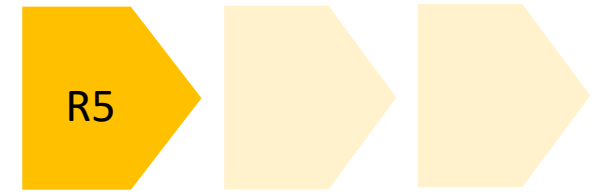
総事業費

440,860円

補助金額

300,000円

団体名	天空の道 星空プロジェクト	代表者	代表 松本 英作
事業名称	宇宙と人生の学校づくり	総事業費	440,860円
事業区分	コラボ事業	補助金交付額	300,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に天体を学べることを知ってもらい、この活動を広めていきたい。 ・宇宙目線で、自分に自信を見つめ、地域や国や地球のことを考える人生の学校が、人づくりに繋がってほしい。 		
事業の内容	実施期間	令和5年8月1日～令和6年2月29日	
	実施場所	穂波交流センター視聴覚室	
	実施状況	開催:2回:12月23日(午前、午後)	
	<p>○毎週土曜日開催の星空観望会を継続開催していき、新たに創設者の想いを引き継ぎ、人づくり、地域活性化のまちづくりに活かしていく。</p> <p>○小学生から大人まで。</p> <p>○福岡県内、または県外まで広めていく。</p>		
事業の成果	<p>午前の部では、今までの親子の会話では築けなかったことがあったことに気づいたとの感想だった。</p> <p>また、母親から再企画を依頼を受けた。午後の部では、別団体でも実施してほしいと好評だった。</p> <p>自分を見直し気づきをもらえた。との感想をもらった。70%の達成感であった。</p> <p>協議会と協力することで、会場利用や協議会会員への声掛けがスムーズになった。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>気づきや親子の会話を築けることから、「レゴブロックde新感覚」の学びを定期的に広めていきたいと思う。SNSでの呼びかけをもっとしていきたいと思う。</p>		



三世代交流～敬老者感謝の集い～

三世代交流を目的とした懇親会を開催



▲ 記念品 準備中～



▲カラオケ大会

対象経費

会場装飾費(需用費)
チラシ、ポスター印刷費(需用費)
記念品(需用費) など

総事業費

178,944円

補助金額

130,000円

団体名	神の浦自治公民館	代表者	公民館長 本川 恭介
事業名称	三世代交流 ～敬老者感謝の集い～	総事業費	178,944円
事業区分	コミュニティ事業	補助金交付額	130,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・神の浦自治会の礎を築いていただいた70歳以上の敬老者と次世代を引き継ぐ青壮年世代の交流。 ・青壮年への声掛けをし、自治会未加入者に加入したいと思われる自治会にしたい。 		
事業の内容	実施期間	令和5年11月5日	
	実施場所	神の浦自治公民館	
	実施状況	開催:1日間(11月5日)	
	○令和5年11月5日(日)に神の浦公民館において、懇親会、カラオケ大会、ビンゴゲームを開催。		
事業の成果	<p>自治会加入の70歳以上の高齢者30人と、小学生5人、保護者、青年部の皆さん15人が参加した、有意義な交流の場となった。</p> <p>今回の交流会により、3名が自治会を脱退することを考えていたが、思いとどまってもらうことができた。</p> <p>三世代交流は口コミで広がっていき、12月10日(日)に開催した、餅つき会の時に、いきいきサロンがコラボしたいとの申し出があった。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>今後は地域内の交流が一層深まるよう、コラボも視野に入れ、活動していきたいと思う。</p>		

久世ヶ浦自治会なないろ事業 ～クリスマス会で世代間交流～

自治会の活性化と世代間交流を目的とした
クリスマス会開催としめ飾り作り



▲チラシ



▲クリスマス会風景

対象経費

チラシ、ポスター印刷費(需用費)
紙皿、紙コップ等消耗品(需用費)
食材、材料費(需用費)
ガスコンロレンタル料(使用料)
チラシ代銀行振込手数料(役務費)など

総事業費

106,239円

補助金額

79,000円

団体名	久世ヶ浦自治会	代表者	自治会長 徳島 勝
事業名称	久世ヶ浦自治会なないろ事業 ～クリスマス会で世代間交流～	総事業費	106,239円
事業区分	コミュニティ事業	補助金交付額	79,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで減少していた行事を復活させ、自治会を活性化する。 ・幅広い世代間交流を築き、地域の繋がりができるきっかけづくり。 ・次世代へ繋げて、世代交代をしても継続できる「協働のまちづくりの推進」ができると考える。 		
事業の内容	実施期間	令和5年11月24日～令和5年12月17日	
	実施場所	久世ヶ浦自治会集会所内外	
	実施状況	開催:1日間(12月17日)	
	<p>○12月17日に久世ヶ浦自治会集会所にて、もちつき大会とクリスマス会を開催。</p> <p>○もちつき大会では、子ども達と大人で、豚汁作り、もちつきと餅丸めを一緒にした。</p> <p>○子ども達と大人で、しめ飾りを作成し、おもちと共に、80歳以上の高齢者宅へ子ども達と大人がペアになって配った。</p> <p>その後、集会所にて、クリスマス会を開催する。</p>		
事業の成果	<p>子ども18人、大人47人の参加があった。チラシを見て、参加してくれた方もいて、多くの住民に周知できたと思う。</p> <p>豚汁に入れる野菜の切込み、餅の丸め方、しめ飾りの作り方を子ども達は大人に教えてもらうなど、世代間交流ができた。</p> <p>お菓子掴みゲームをし、軽食とクリスマスケーキをみんなで食べ、たくさんの交流を図ることができた。</p> <p>普段はできない体験に子どもも大人も楽しそうにしていた。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>次年度は、もっとたくさんの住民の方に参加してもらえるように年間の町内行事、地域行事に力を入れ、全員が参加してもらえるようにしていく。</p> <p>まだ、遊び足りない子ども達もいたので、次年度は時間の配分が課題だと思った。</p>		

カレー食堂の会

採択回数

R5

カレー食堂の会

世代を問わず交流できる場として、カレー食堂を開く



▲ 宿題中～



▲ みんなで工作中



カレー
おいしい!

対象経費

食料材料費(需用費)
装飾用材料費(需用費)
紙コップ、紙皿、スプーン(需用費)
など

総事業費

46,368円

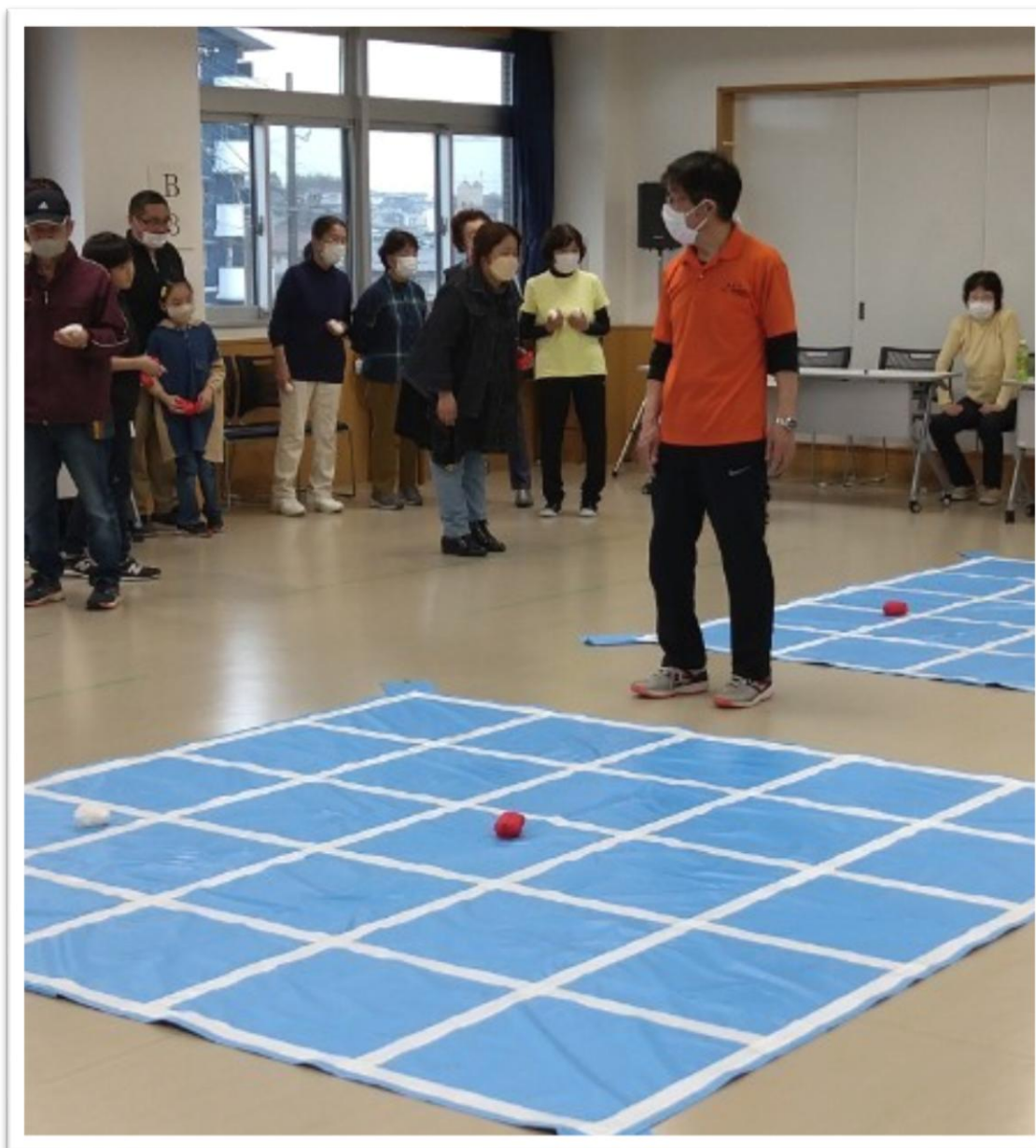
補助金額

34,000円

団体名	カレー食堂の会	代表者	代表 山本 秀子
事業名称	カレー食堂の会	総事業費	46,368円
事業区分	コミュニティ事業	補助金交付額	34,000円
事業の目的	<p>・コミュニティの場を通して、子育て世代や介護世代の方も対象とすることでそれぞれが抱える様々な社会的孤立を防ぎ、地域住民同士の見守りや、地域活性化につなげていきたい。</p>		
事業の内容	実施期間	令和5年11月1日～令和6年3月31日	
	実施場所	デイサービス山桜	
	実施状況	開催:5日間	
	<p>○毎月第三金曜日の16時から、デイサービス山桜にてカレー食堂を開催。 ○全員にカレー(食べられない方は肉うどん)を提供し、子どもは、宿題などの勉強ができる場も提供する。 ○ボランティアには専門職を配置し、気軽に相談が出来たり、同じ悩み等を抱えた人同士が交流できるような場をつくる。 ○夕食後に歯科衛生士による口腔ケアの指導を受ける。</p>		
事業の成果	<p>回数を重ねるごとに子供達の自発性が育まれ、積極的に宿題や自学に取り組む姿がみられるようになった。 社会的影響として、事業を通して顔見知りとなり、事業以外の場で挨拶を交わしたり、声を掛け合ったりと見守りの手が増えたり少しずつ事業の取り組みが地域に浸透し、協力の声が増え、地域交流の活性化に繋がってきたと感じる。 父子家庭の方や働いてるお母様から、「助かります」「今日はゆっくりさせてもらいます」等の声を聞くことができた。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>令和6年度も毎月第3金曜日に開催予定。 課題として高齢者は送り迎えがないと参加が難しいこと、幼児から小学生の参加が多く、中学生にも広めていく必要がある。また年齢によって取り組む内容に違いがあり(幼児→工作、小学生→勉強など)各々が安心して取り組める環境作りが必要である。 一人でも、カレー食堂を必要と感じている方がいる限り、この事業は続けていきたい。</p>		

ニュースポーツde地域交流！！

地域住民の親睦及び自治会加入の促進のため、
ニュースポーツ大会を開催！



▲「五目お手玉トーナメント」開催風景

対象経費

講師謝礼金(報償費)
お手玉(需用費)
シート作成委託(委託費)
ターポリン生地(原材料費)
イベント保険料(役務費) など

総事業費

235,360円

補助金額

150,000円

団体名	二瀬支部自治会長会	代表者	会長 渡邊 秀人
事業名称	ニュースポーツde地域交流！！	総事業費	235,360円
事業区分	コラボ事業	補助金交付額	150,000円
事業の目的	<p>・年齢や性別に関係なく手軽に始められるニュースポーツを活用して、自治会内の交流から自治会間の交流を経て、二瀬地区全域へ活動の際に、各自治会のアピールを行い、自治会加入を促進する。</p>		
事業の内容	実施期間	令和5年11月1日～令和6年3月31日	
	実施場所	二瀬交流センター	
	実施状況	開催:2日間(3月3日、3月17日)	
	<p>○【3月3日(日)】二瀬交流センターで開催されたセンターまつりで体験コーナーを実施した。</p> <p>○【3月17日(日)】老若男女を問わず楽しめる、自治会長会主催のニュースポーツ「五目お手玉トーナメント」を開催し、成績上位及び、各賞の表彰を行う。</p> <p>○【3月～】住民交流の目的で2自治会に五目お手玉の道具の貸し出しを行った。</p>		
事業の成果	<p>体験コーナー、体験会ともに参加者の年齢が幅広く、異世代間で交流を図ることができた。また、体験会では自治会対抗の要素も取り入れたため、自治会間の交流も図ることができた。</p> <p>多くの参加者から「コロナ禍で途絶えていた地域の交流が復活して嬉しい」など好意的な意見が寄せられ、地域住民が持つ交流への意欲を反映できたと考える。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>ニュースポーツを活用した交流活動は次年度以降も継続していく方針である。課題としては、各種ニュースポーツの認知度が低く参加に結び付いていないので、住民への周知に力を入れる。</p>		

身近でアウトドア (親子で春を楽しもう)！！

災害時に役立つ知識と経験を得られるデイキャンプの開催



▲チラシ



▲デイキャンプの風景

対象経費

野外活動指導員(報償費)
講師交通費(旅費)
資料、チラシ等印刷(需用費)
保険料、通信費、郵便料(役務費)
仮設トイレ、運搬車両レンタル料(使用料)
炭、薪、ガス缶、クラフト材料費(需用費)
のぼり旗、Tシャツ制作費(委託費)など

総事業費

183,816円

補助金額

113,000円

団体名	飯塚レクリエーション研究会	代表者	会長 福間 俊夫
事業名称	身近でアウトドア (親子で春を楽しもう)!!	総事業費	183,816円
事業区分	テーマ事業(先駆的)	補助金交付額	113,000円
事業の目的	<p>・今までのアウトドアスクール等では、災害を見越した取り組みがなされていなかったため、今回は火が使える、野外活動を気軽に行える場を提供し、災害時に役立つ知識と経験を得られるアウトドアを実施すること。</p>		
事業の内容	実施期間	令和6年2月1日～令和6年3月20日	
	実施場所	かほ兵衛の台所(カホテラス)横の駐車場	
	実施状況	開催:1日間 (3月17日)	
	<p>○市報等を使い、一般公募で参加を募り、デイキャンプを基本とし、野草を使った野外調理を行う。 ○火起こし、食べられる野草の選定法、調理法、非常食の調理法などを講習方式にて行う。</p>		
事業の成果	<p>河川敷という身近な場所に、食べられる野草が生息しており、それを使って、手軽にアウトドア体験ができることについて、参加した方から評価をいただいた。 災害時の炊飯知識についても、実際に体験し、興味を示していただいた。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>少しずつであるが、楽しくアウトドアを体験していただくことで非常時の知識や知恵を知ることができるため、継続していくことが大切だと考える。また、今回は民間の「かほ兵衛の台所」さんの協力を得ることで会場の確保ができたが、もっと身近な公園などで可能な開催場所があれば検討したい。</p>		



2023-2024小正一区公民館 年末年始イルミネーション計画と大型紙芝居

公民館のイルミネーション装飾と大型紙芝居の作製



イルミネーション風景



▲公民館での合奏会

対象経費

イルミネーション代(需用費)
電源コード代(需用費)
プレート代(需用費)
印刷代(需用費) など

総事業費

210,766円

補助金額

150,000円

団体名	小正一区公民館	代表者	公民館長 西園 信雄
事業名称	2023-2024小正一区公民館年末年始イルミネーション計画と大型紙芝居	総事業費	210,766円
事業区分	コミュニティ事業	補助金交付額	150,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方(特に高齢者)とのふれあいと、会話を増やし、自治会への加入促進と活動への参加を促し、活性化を計る。 ・運転免許証を返納されて、遠出をしてイルミネーションを見れない高齢者の方に身近で楽しんでもらう。 		
事業の内容	実施期間	令和5年11月1日～令和6年1月7日	
	実施場所	小正一区公民館と横のスペース	
	実施状況	開催:5日間	
	<p>○11月3日:敬老会を開催し、大型紙芝居や余興などを実施。</p> <p>○12月22日:イルミネーション点灯式を実施。</p> <p>○12月28日:合奏会を実施。</p> <p>○12月31日:スタンプラリーとニューイヤーカウントダウン実施。</p> <p>○令和6年1月5日:イルミネーションの消灯式を実施。</p>		
事業の成果	<p>紙芝居は敬老会に参加されていた方に概ね好評だった。</p> <p>イルミネーションは、点灯期間中は写真を撮っている方も多数いた。</p> <p>点灯式では、約50名、カウントダウンでは雨が降っていたが、約40組のご家族が参加いただいた。</p> <p>今まで公民館行事に参加されていない方にも、多数来てもらった。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>紙芝居は、公民館行事と育成会行事にて、都度実施していく。</p> <p>イルミネーションの方は設置数を増やして、華やかにしていきたい。</p> <p>課題としては、どちらのイベントも実施にあたり、少数の方に多大な負担をかけた。次回以降は実行委員会を広範囲から集めて負担の分散をしていきたいと思う。</p>		

三河家ジャパン演劇祭 「闇夜の翔天」 in 曩祖八幡宮

曩祖八幡宮の宮内のライトアップ
舞踊、歌謡、和楽器の演出



▲ チラシ



ライトアップの様子

対象経費

ステージ設営(使用料)
証明設備、発電機等(需用費)
作業人件費(委託費)
協賛旗制作費(委託費)
警備安全対策費(委託費) など

総事業費

938,411円

補助金額

200,000円

団体名	三河家劇団	代表者	会長 竹川 智治
事業名称	三河家ジャパン演劇祭 「闇夜の翔天」in曩祖八幡宮	総事業費	938,411円
事業区分	テーマ事業(先駆的)	補助金交付額	200,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の人々に飯塚をアピールするためにも、新たなパワースポットの間として「曩祖八幡宮」をピックアップした。 ・1800年以上の歴史を持つ八幡宮で、神に捧げる「奉納祭」を開催することで、市の中心部に新たな名所を創り、飯塚市を盛り上げたいと考える。 ・将来的には、「山笠」の様に市の名物行事とし、集客とイメージアップが期待できると考える。 		
事業の内容	実施期間	令和5年11月3日～令和6年1月7日	
	実施場所	曩祖八幡宮	
	実施状況	開催:1日間(11月11日)	
	<p>○曩祖八幡宮の宮内に仮設ステージを作り、ライトアップにより幻想的な空間を創り出す。(夜間公演実施。景色のライトアップかがり火や竹灯籠の設置)</p> <p>○老若男女皆様に楽しんで頂ける舞踊歌謡、和楽器の演出</p> <p>○観覧無料</p>		
事業の成果	<p>入場料をいただかず、約100名ほどの観客を動員。県内外、市内外の方々に曩祖八幡宮の存在を伝える事ができ曩祖八幡宮の歴史と魅力を知ってもらう事が出来た。曩祖八幡宮の関係者の方々にも好評価を頂き、継続可能と感じている。</p>		
次回以降の見通しと課題	経費の節減と時期の選択が課題として残った。		



飯塚を桜で彩ろう (さくらびとPROJECT)

雨水対策調整池の残地を活用し人々の交流の場を作る



▲桜の苗木 160本の植樹を行う

飯塚を桜で彩ろう
～さくらびとPROJECT～

放置されている飯塚地区の土地を活用してなにかできないかと考えておりました。そんな中、大変ありがたいことに、飯塚まちづくり協議会の協力を賜ることができ、本プロジェクトがスタートいたしました。

目的としては・・・

- ▶公共スペースを設け、イベント会場を設置することで飯塚市の地域活性化をと考えています。

そこで、クラウドファンディングにより、応援者を募ることになりました。

- ▶桜1本あたり50,000円×最大100本
- ▶応援者のネームを刻印、10年間出入り自由等の特典を付与

クラウドファンディングについて
詳しい内容はサイトに記載しております。ぜひご覧ください。
インターネットにて「飯塚を桜で彩ろう」と検索してみてください。
もしくは右のQRコードを携帯かざしてサイトに接続してみてください。

NPO 法人サカエ会のホームページ・インスタグラム、
有限会社サカエ住宅のホームページ・インスタグラムにも掲載しております。

▲ チラシ

対象経費

真砂土購入(需用費)
推肥購入(需用費)
木材支柱(需用費) など

総事業費

352,000円

補助金額

200,000円

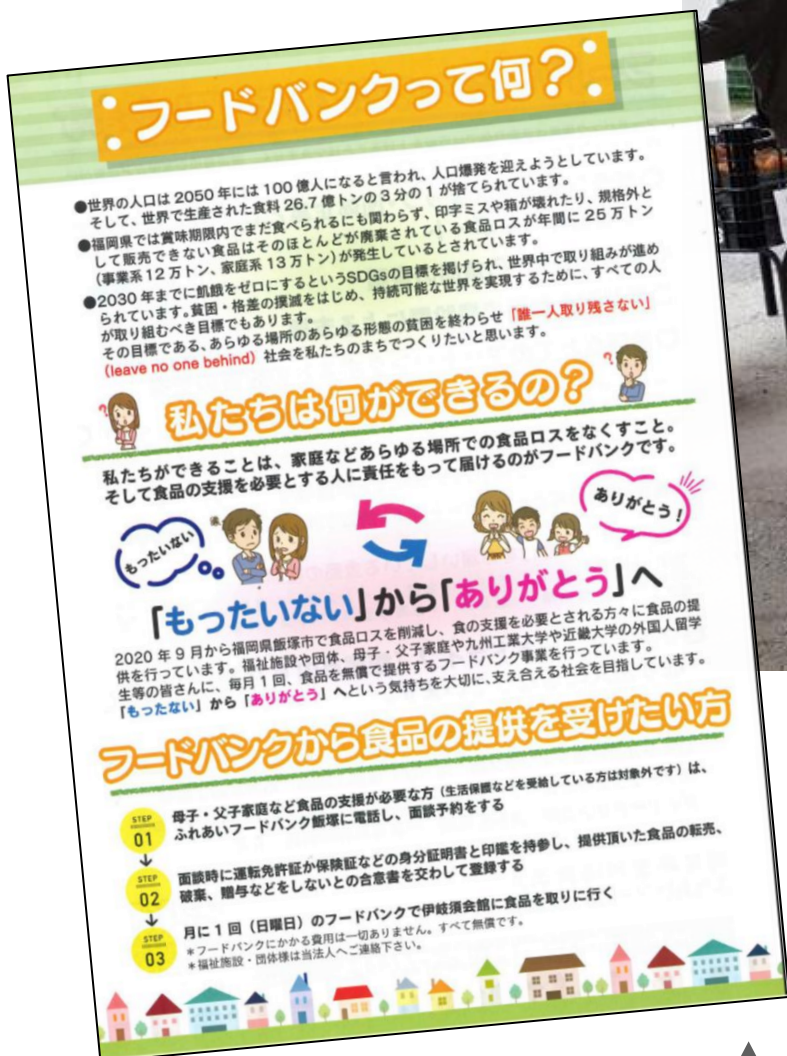
団体名	赤坂調整池有効利活用 企画委員会	代表者	会長 岩見 元照
事業名称	飯塚を桜で彩ろう (さくらびとPROJECT)	総事業費	352,000円
事業区分	テーマ事業(先駆的)	補助金交付額	200,000円
事業の目的	<p>・周辺地域の雨水対策調整池の残地を活用して、桜を植樹し、遊歩道やドッグランを整備することにより、さくらの木を通じて人とまちの和が広がり、人と人との交流ができる場所として、アフターコロナを見据えコロナ疲れした地域と人々を満開の桜で元気にする。</p>		
事業の内容	実施期間	令和5年11月1日～令和6年3月29日	
	実施場所	赤坂さくら公園	
	実施状況	作業日:1日間、イベント開催:2日間	
	<p>○放置されたままの雨水対策調整池の残地を有効活用するためまちづくり協議会や近隣住民の皆さんと「赤坂調整池有効利活用企画委員会」を結成。</p> <p>○桜により、景観を再生させ、オシャレで利用しやすい空間形成の実現により、多世代に利用してもらうことで、にぎわいを創出する。</p> <p>○地域の方を巻き込んで、イベント等の開催や、敷地内外の環境を整えることで防犯対策にも寄与し、安心安全な地域維持に努める。</p> <p>○「公益財団法人日本さくらの会」より寄贈いただいた桜の苗木100本と自主財源により購入した苗木60本を植樹した。</p> <p>○3月16日・17日に「SAKURAパークフェス」を開催した。</p>		
事業の成果	<p>「SAKURAパークフェス」は、2日間で周辺住民約200名の参加があった。収益の一部を能登半島地震への募金に充てることができた。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>次年度以降も桜の時期に開催する。</p>		

特定非営利活動法人ふれあい

困難を抱えた家庭の子どもへの食の支援(フードバンク事業)と虐待防止活動事業(アドボカシー事業)



▲食品提供の様子



▲チラシ

対象経費

車両賃借料(使用料)
 食品ケース、ビニール袋(需用費)
 広報費、チラシ印刷代(需用費)
 損害保険、郵送代(役務費)
 フードバンクポスト回収費(委託費)
 など

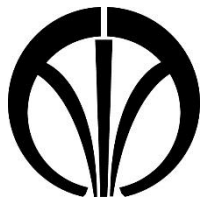
総事業費

434,856円

補助金額

300,000円

団体名	特定非営利活動法人 ふれあい	代表者	理事長 山根 仁
事業名称	困難を抱えた家庭の子どもへの食の支援と虐待防止活動事業	総事業費	434,856円
事業区分	コラボ事業	補助金交付額	300,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困問題を「食」の視点から支援すると同時に、食品ロス・食品破棄が大きな社会問題になっている。その解決策として破棄される食材・加工食品などを集約し、必要とされる個人や福祉団体に無償で提供する。 ・誰一人を見捨てないという意識を作っていけると考える。 ・生活困窮者を支援し、貧困問題や子どもの健全育成に努め住みよい地域にしていくことが可能になる。 		
事業の内容	実施期間	令和5年6月1日～令和6年3月31日	
	実施場所	伊岐須会館	
	実施状況	開催:毎月1回(食品の無償提供)、講演会:1回	
	<p>○特定非営利活動法人ふれあいとして、企業から提供頂いた食品を毎月一回伊岐須会館で無償で配布。</p> <p>○虐待防止活動として、令和5年12月1日第2回アドボカシー飯塚の講演会を二瀬交流センターで実施。</p>		
事業の成果	<p>飯塚病院小児科診療部長より、子どもの虐待の現状や課題、医療現場での体験をもとにした講演があり多くの学びがあった。フードバンクポスト・フードドライブと言われる家庭内の食品ロスを削減の取り組みも広まり、市内スーパー、コンビニエンスストア等を中心に14か所で実施している。食品の回収量も年々増加している。</p>		
次回以降の見通しと課題	<p>3年間の飯塚市協働のまちづくり応援補助金が終了するという事で、活動の支援を受け、継続的な事業ができ感謝している。今後の活動に財政的裏付けが厳しい状況にあるが、可能な限り自立的な活動ができるよう、飯塚市のまちづくりに尽力したいと考えている。</p>		



令和5年度 飯塚市協働のまちづくり応援補助金(チャレンジing事業)活動レポート
令和6年9月発行

【発行】 飯塚市 市民協働部 市民活動支援課

TEL:0948-96-8259 FAX:0948-22-5526

Mail:shiminkatsudou@city.iizuka.lg.jp